



<p>学個別力・目標 教4師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者 ①教員は児童の実態に合わせてICTや体験活動、見学等を取り入れたりしながら授業を工夫し、わかりやすい授業になるよう努めている。</p> <p>②教員は地域の特色を生かした教育活動を実施しようとしている。</p> <p>③教員は一人一人の児童に引き合いながら、児童の学校生活が充実するように努めている。</p> <p>児童 ①めあてに向けて、一生懸命に学習に取り組むことができている。</p> <p>②地域のことを調べたり、考えたりする学習を通して、仲六郷地域のことをたくさん知ることができている。</p> <p>③先生と話す時間がたくさんあり、学校生活を楽しく過ごすことができている。</p>	<p>4:全体で90%以上</p> <p>3:全体で80%以上</p> <p>2:全体で70%以上</p> <p>1:全体で70%未満</p>	<p>教職員： 学校経営方針に基づいた教育活動を進めていく中で、取り組むべき業務を精選しながら、教職員の児童に引き合うための時間を適切に確保することが課題である。</p> <p>保護者アンケート： 教職員の授業への工夫や、地域の特色を生かすこと、そして、一人一人の児童に引き合うことなど、高い評価を得ている。今後も、保護者や地域との連携を深めながら、指導の充実をめざし、カリキュラムマネジメントを実践していく。</p> <p>児童アンケート： めあてをもつこと、地域と関わること、そして、先生と話す時間が十分にあることなど、児童の教育活動の充実を図ることができている。</p> <p>○校内研究やOJTを通し、深い学びに向けた授業力の向上を目指していく。</p>	<p>A 1111</p> <p>B 1</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>・この問題は1番考えなくてはいけない部分で教職員の技量が問われることと考えており、教職員のメンタル面も考慮し、フォローしなくてはいけない部分と思いますが、バランス良く感じています。</p> <p>・児童一人一人対話を尊重した教育活動を行っている姿勢は評価に値する。</p> <p>・教職員は一人一人の児童に引き合い、工夫ある授業に取り組まれている。</p>
<p>た自個め別の学目標 5をいきいきと生かす</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者 ①学校は児童一人一人を大切に教育に努めている。</p> <p>②学校はいじめは絶対にしないという事を児童に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。</p> <p>③学校は三者面談や保護者会などを通して、保護者と一緒に関心のある児童の成長を考えたよう努めている。</p> <p>児童 ①困ったことがある時には、学校の先生方の中に相談できる人がいる。</p> <p>②いじめは絶対にいけないことだと思っている。</p> <p>③学校の先生方は、自分のことを応援してくれている。</p>	<p>4:全体で90%以上</p> <p>3:全体で80%以上</p> <p>2:全体で70%以上</p> <p>1:全体で70%未満</p>	<p>教職員： インクルーシブ教育については、今後、しっかりと体制の充実を図るため、校内研修や、関係諸機関での研修に積極的に参加しながら、進めていく必要がある。</p> <p>保護者アンケート： 保護者会や面談を通して、学校が保護者と共に児童の成長のために教育活動を進めている事には理解が図れている。いじめの未然防止に関する活動が理解されていない部分も多々ある。</p> <p>児童アンケート： 児童と教員との関係性の良さが成果である。相談しやすい環境は今後もより継続、充実を図っていく。</p> <p>○保護者会などを通して、本校の生活指導の取り組みを定期的に、また教員等と具体的に伝えていくことが必要である。</p>	<p>A 11</p> <p>B 1</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>・取り組んだ内容はとても良いと感じました。児童の中にはキチンと喧嘩を止め、勇気をもった対応した姿も見ているので、評価は高いです。ただ保護者にはいじめの概念が定義されていないなど理解されず、いじめに値してしまいます。それを踏まえて自分らしさを取った取り組みは、重要な事なので慎重にお願いします。</p> <p>・インクルーシブ教育の構築への期待をしております。</p> <p>・インクルーシブ教育の私個人は、差別区別なく、同じ教育を受けられると解釈している。それは助け合い支え合うことが大切で評価以上の事が出来ているのではと思う。</p>
<p>安柔個心軟別なで目教創育6環の境を学つ習く空間と安全・</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者 ①学校は地域の伝統や文化を教育活動に取り入れようとしている。</p> <p>②学校は児童の安全な学校生活のために実践に合った避難訓練などの危機管理に努めている。</p> <p>児童 ①地域の方にインタビューをしたり、見学をしたりすることを通して、地域のことを知ることができた。</p> <p>②きまりを守って行動することができている。</p> <p>③避難訓練には真剣に取り組むことができている。</p>	<p>4:全体で90%以上</p> <p>3:全体で80%以上</p> <p>2:全体で70%以上</p> <p>1:全体で70%未満</p>	<p>教職員： 学校はICT環境や安全指導の充実が図れている。これは計画的なICT研修や実践的な避難訓練の成果である。今後も教職員のスキルを高めながら、より良い教育環境を整えていく。</p> <p>保護者アンケート： 地域連携や安全面についての理解が高い。今後も防災教育の充実を図りながら、命を守るための判断力、行動力を身に付けさせる活動を進めていく。</p> <p>児童アンケート： 避難訓練に真剣に取り組める児童が非常に多い。学校としての日常からの安全に関する意識がこのような成果につながっている。</p> <p>○地域の防災活動にも積極的な参加を推進しながら、地域と連携した安全な学校の環境づくりを進めていく。</p>	<p>A 12</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>・ほぼ、目標は達成されていると感じています。お互いに地域活動との繋がりを協力していきたいと思っています。</p> <p>・より一層、地域と連携を図り、子どもたちに防災意識の向上に努めていただきたい。</p> <p>・学校は児童の安全安心を向上させるための教育を実践している。</p> <p>・学校と子どもたちが、この町のコミュニティの中心であることを感じます。その一端を担えるよう、地域と連携をし、より一層強固にしたいと思う。それらが地域の安全につながると思う。</p>
<p>学地学個校校別をコ・目つミ家標7リニ・まテ地すイ域の核連と携し・て協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者 ①学校は家庭と地域と連携・協力しながらよりよい教育環境づくりに努めている。</p> <p>②学校は地域人材や地域資源等を活用した教育活動の充実に取り組んでいる。</p> <p>③学校は教育活動を学校公開や行事、学校だよりや学年だよりなどで情報を発信することに努めている。</p> <p>④家庭ではPTAや地域の行事に参加している。</p> <p>⑤家庭ではお子さんの良いところを日頃から伝えほめている。</p> <p>児童 ①仲六郷地域のことが好き。</p> <p>②地域行事に参加することは楽しい。</p>	<p>4:全体で90%以上</p> <p>3:全体で80%以上</p> <p>2:全体で70%以上</p> <p>1:全体で70%未満</p>	<p>教職員： 地域連携に向けて、積極的に取り組んでいるが、登下校の見守りや家庭教育に関する情報の発信については、取り組むべき課題である。</p> <p>保護者アンケート： PTAや地域行事については、参加は増えているが、一部の児童及び保護者に参加を推進するために、広報活動の工夫が必要である。</p> <p>児童アンケート： 地域行事への参加を増やしていくため、学校が地域コミュニティの中心となり推進していくことが必要である。</p> <p>○児童が、地域行事へ参加することでの成果について、学校、地域、PTAが連携し示していく必要がある。</p>	<p>A 11</p> <p>B 1</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>・この問題に関しては学校だけの問題ではなく、地域との連携、保護者への理解度を含め町ぐるみで対応すべき問題と感じています。</p> <p>・町会行事に子どもたちの参加が増えている傾向がとても良い。</p> <p>・高齢化と人材不足で、「地域の力」が落ちてきている。学校の要望、児童、保護者の期待に応える「地域の力」が弱くなってきている。教委や行政からの過度な要請が地域の負担となっているケースが少なくない。</p> <p>・読み聞かせやPTAイベントに参加するのですが、子どもたちが私を認知して、登下校時などに挨拶を返してくれるのは嬉しい。</p> <p>・地域行事に参加する姿、大変嬉しく思います。</p> <p>・PTAのことで、新年レクの時間が、今回は1時間半しかなく、色々なものが簡素化され、子どもたちがかわいそうと思うとの意見がありました。</p> <p>・以前も書きましたが、前の仲六郷小学校は児童自らあいさつをしてくれました。今の仲六郷小学校は、こちらが挨拶してもスツと通り過ぎていく子が多く、寂しく思います。</p>

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。  
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。